誰も置き去りにしない社会へ

# 杉山あつし だより

県政へのご意見をお寄せください

発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）　静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13
第２０号（2024年3月30日発行）　電話 054-282-0143　FAX 054-282-0143

## ご挨拶

あたたかな季節となりました。議員となって6年目の春です。初心を忘れず、皆さまのよりよい暮らしをつくるため益々日々精進してまいります。

元日に北陸地方を襲った能登半島地震で被災された方々を支援したいと、募金活動を続けています。一日も早く生活再建できるよう今後も尽力してまいります。

被災者支援募金の様子

## 静岡県議会2月定例会　ご報告（2/20〜3/18）

### 2024年度当初予算案成立

県議会2月定例会は、2024年度当初予算を成立させ終了しました。私の関心の高い「(新規)フリースクール助成事業(不登校対策)」「(新規)感震ブレーカー普及事業・市町との共同事業」「中小企業等の省エネ設備等導入支援・補助」「再生可能エネルギー導入促進緊急対策事業費助成」なども盛り込まれています。しっかりと周知してまいります。

### 知事の行動で大荒れの議会に

今定例会は、1月4日の川勝県知事「復興支援会議不参加」をめぐり大荒れの議会となりました。代理出席可能な会議でしたが、事前に忙しい馳・石川県知事へ電話連絡したことが問題視され、危機管理や政治姿勢への質問が目立ちました。知事はその時間帯、静岡新聞社主催の賀詞交歓会に参加していましたが、復興支援会議にも掛け持ちで参加すべきでした。

### 不平等な議会運営

2月29日の本会議中、自民会派議員の再質問「知事の住所を聞く」「謝罪を求める」に対して、私からの「再質問の範囲を超えている」との小言の発言と、議会終了後に「ルールを守れよ」（※）の発言が問題視され、最前列一番隅への懲罰的な座席替えが行われそうになりました。議会運営委員会での会派議員の努力の結果、3列目の会派割当の隅の席に移ることで決着。

大きな声でヤジをいう自民会派議員は問題視されず、質問者にしか聞こえない私の小言が懲罰的な措置がされることは不平等です。とはいえ、今回の件では多くの方にご心配をおかけし申し訳ありませんでした。

※再質問ルール：1回目の質問の答弁で不十分な点を確認するもの。
1回目の質問の範囲内に限定、別のことは質問してはいけない。

## 杉山あつしが注目した本会議質問

●フリースクールへ新たな支援･補助制度の創設
●若者Uターン就職率の低下阻止・Uターン促進
●学校図書館と司書配置の充実
●県立高校体育館の空調整備の促進
●小規模県立高校15校の運営への積極関与
●盛土規制法の対象区域指定を他県に併せるべき
●県単独事業が政令市へ原則補助しない方針の転換

## 文化観光委員会での質問（3/7）

● **「大学生の学びの保証」**について
知事回答「何ができるのか、どのような対応ができるのか検討していく」の進捗確認

● **「大井川鉄道と周辺観光PR事業」**への支援確認

● **「外国人学校への支援拡大」**について
不登校対策としてフリースクールに一校当たり100万円支援予算が決まったが、学校法人格のない外国人学校も支援すべき

● **「東静岡駅周辺のまちづくり」**について
静岡市主体に行うべきで、県関与は最小限にすべき

●**新規事業「時流を据えた推し旅推進事業」「(県内)大学サミットの開催」「日本平周辺文化施設利活用推進事業)」の背景と狙い・効果の確認**

## 議会行事「清水南高・高校出前講座」、「芸術科・卒業発表会」

静岡県の人口減少対策、特に若者の県外流出について、議員が入りグループに分かれて議論。「魅力ある大学や就職先が県内には少ない」「南海トラフ地震が来るといわれているので大学を卒業しても戻らないのではないか」「東京圏などの大都市には魅力がある」などの意見を聞くことができました。時間が足りないほど活発な意見交換ができました。(1/23)

前日お誘いを受けた「芸術科･卒業発表会」に参加。高校3年間の集大成となる演奏会(無料)でレベルの高さに驚きました。皆さん制服での演奏でしたが、衣装に着替えていれば立派なコンサートだと感じる発表会でした。(1/24)

## 宇都宮ライトレール･天浜線利活用促進議員連盟の視察

1日目は自動運転バスの先進自治体茨城県境町を視察。国の補助金とふるさと納税を活用し、町が土地を先行購入し、用途変更で価値を上げ、そこに建物を建てて家賃で稼ぐなどの様々な改革や経営を展開していました。

2日目は芳賀･宇都宮LRT事業のライトレールを視察。ライトレールは宇都宮市の東西を結ぶ新しい公共交通･路面電車です。実際に乗車し、振動が少ないこと。学校、商業施設、工業団地を結び、新幹線の始発と終電に対応できるダイヤにしたこと。バス路線を再編するなど街づくり計画を実施したことなどの説明を聞きました。静岡市でもライトレールの勉強会が開かれています。関心を高めていきます。(1/16.17)

宇都宮･ライトレール視察

## 市民公開講演会「PFAS汚染とは何か」

静岡県保険医協会主催の講演会。清水区にある三井・ケマーズフロロプロダクツ(旧三井デュポン)など製造業に由来するPFOAの汚染の影響を学習しました。

PFOAは小腸で再吸収されるので排出ができません。WHOはPFASを発がん性のある物質に認定しました。サツマイモに吸収されやすいことなどを確認しました。静岡市にとっては大きな課題であり、しっかりと情報収集していきます。(1/13)

## リニア新幹線の県内工事の遅れは、舗装道路の工事遅れも原因

リニア問題では、静岡県内から掘られるトンネルは避難口トンネル2本(上と下)、作業用トンネル、導水管トンネルの4本です。トンネル現場までの舗装道路がなく、大型重機の移送はできません(舗装化済みは8割程度)。よく聞かれる静岡県の反対のため、工事が遅れているとの話は正確ではありません。また、工事が難航しストップしている北品川工区や反対地権者がいる相模原車両基地予定地などで工事は遅れています。正確な報道を求めます。

## 福島こども支援街頭募金

福島県では、福島原発事故以降こどもの甲状腺がんが増加しています。国が補助していない健康診断、こどもの健康事業に取り組んでいる団体への募金を呼びかけました。募金先の団体の活動は、原発防災上で参考にすべきです。(3/11)

次回6月10日(12：00〜13：30)

静岡駅地下広場

## 全建総連・静岡の職域国保への助成の要請

特定検診の費用は国保などの保険者負担とされました。自治体要請のとおりに受診率を上げれば負担は増加します。職域国保は、市町村国保に比べ支援が少ない現状です。2年前私が本会議で質問した内容です。すでに14県で補助がされており、国からも助成要請の文書が出ており、対応を求めていきます。(3/4)

## 県立大で「食べ物カフェ」を見学し、学生と意見交換

食べ物カフェは、県立大学ボランティアセンターと学生助けたいんじゃーの学生で運営され、金銭的·精神的に苦しい学生に食べ物を配りつつ状況を聴き取り、必要な支援につなげる活動です。この活動は2023年11月に「内閣府特命大臣表彰」を受けましたが、大学側の理解が低く、運営に苦慮しています。引続き困窮学生の相談体制を充実させるよう要望していきます。(2/13)

静岡県立大学

## 自治体政策情報センター主催「地方×国政策研究会」

来年度の地方財政計画、令和5年度補正予算、所得減税、介護保険法改正案、PFAS対策などの説明を直接、国の担当者から聞くことができました。特に減税は所得税だけでなく、個人住民税も対象であり、複雑なやり方で行われます。自治体の個人住民税担当者は苦労することが想像できます。PFAS対策の講座で静岡市清水区の旧三井デュポンの汚染問題を発表させていただきました。(2/7)

## 「令和6年度地方財政の姿」講演会

能登半島地震での緊急に決定した手厚い交付税措置。歳出では小中学校の統合･建替え老朽化対策と社会保障関係費が増加。借入金である地方債残高は減少を続け、地方のプライマリーバランスは改善傾向。今回の交付税措置では子育て支援、物価高対応、脱炭素推進に重点をおいたなど詳しい話を聞くことができました。(2/2)

## 静岡ふれあいユニオン大会に出席

最低賃金アップの初任給への反映とリニア問題の県政報告を兼ねた挨拶を行いました。技能実習生の解雇問題など県政に関係する報告を聞くことができました。(2/17)

## 地方自治の危機！国の関与を強める地方自治法改正

コロナ禍の学校休校指示など緊急事態に的確な国からの指示が出せるよう地方自治法改正法が審議されています。一方で沖縄県辺野古基地建設のように自治体の権限を停止し国による代執行を強める動きになるとの警戒もあり、地方団体からも慎重に進めてほしい、必要最小限の例示をすべきとの意見が出されています。総務省からの説明には必要最小限との話はありましたが、拡大解釈が危惧されています。問題点を確認して、県議会議員としても対応していきます。

## 編集後記

2月22日早朝凄まじい雨の中、三保地引網保存会の地引網に参加しました。全国放送TBS「The･Time」の中継が6時45分頃からあり、安住アナウンサーの向かえにいた私の様子が映りこみました。真鯛一匹と大漁のコノシロが取れました。

2月21日、母校･静岡東高校後援会役員会とPTA役員会に参加し、2024年度の静岡東高･後援会会長とPTA副会長に就任することが内定しました。後援会長として母校に協力していきます。

## 杉山あつし　プロフィール

1962年　10月31日生(駿河区南町生まれ)
静岡学園幼稚園･富士見小学校･高松中学校卒業
1981年　静岡東高校卒業(16期生)
静岡県職員に採用(民生福祉･税務に従事)
(財務事務所、中部民生事務所、こども家庭相談センターに勤務)
2012年　静岡県職員組合専従役員(11年7か月) 49歳時に県を退職
2019年　県議会議員選挙(駿河区)で初当選　　現在2期目
2020年　産業委員会副委員長
2023年　文化観光委員会副委員長

会派「ふじのくに県民クラブ」、静岡東高校後援会理事(現在)

■杉山あつし事務所
静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13
TEL　FAX:054-282-0143
携帯電話:090-1279-1443
MAIL:kycdh891@yahoo.co.jp